

12 底釣り2 両ダンゴの底釣り(春～秋)

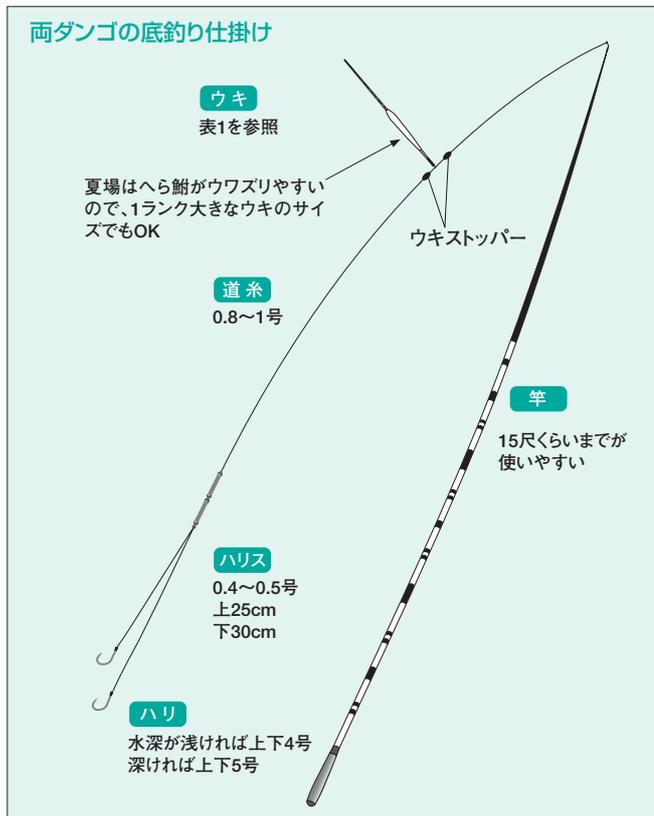
春から秋にかけてへら鮒の活性が高い時期は、底釣りも両ダンゴが威力を発揮します。底にエサをためてへら鮒を寄せるのですから、重めでしっかり食わせられるエサを使うと効果的です。

底釣りの手順

- ①ウキのエサ落ち目盛りを決めます。
- ②タナ取りゴムを付けて水深を測り、トンボをウキの1目盛りに合わせます。
- ③①で決めたウキのエサ落ち目盛りをトンボに合わせます。(上バリントン)
- ④タナ取りゴムをはずして、もう一度エサ落ち目盛りを見ます。このとき、ハリが両方とも底に着いているはずなので、宙で見たエサ落ち目盛りよりも約1目盛り出ているはず。これはハリがちゃんと底に着いている証拠で、底のエサ落ち目盛りになります。
- ⑤エサを付けて、底釣りの開始です。

●使用する竿は15尺くらいまでが使いやすいでしょう。釣場の水深の深さによって使う竿を決めてください。

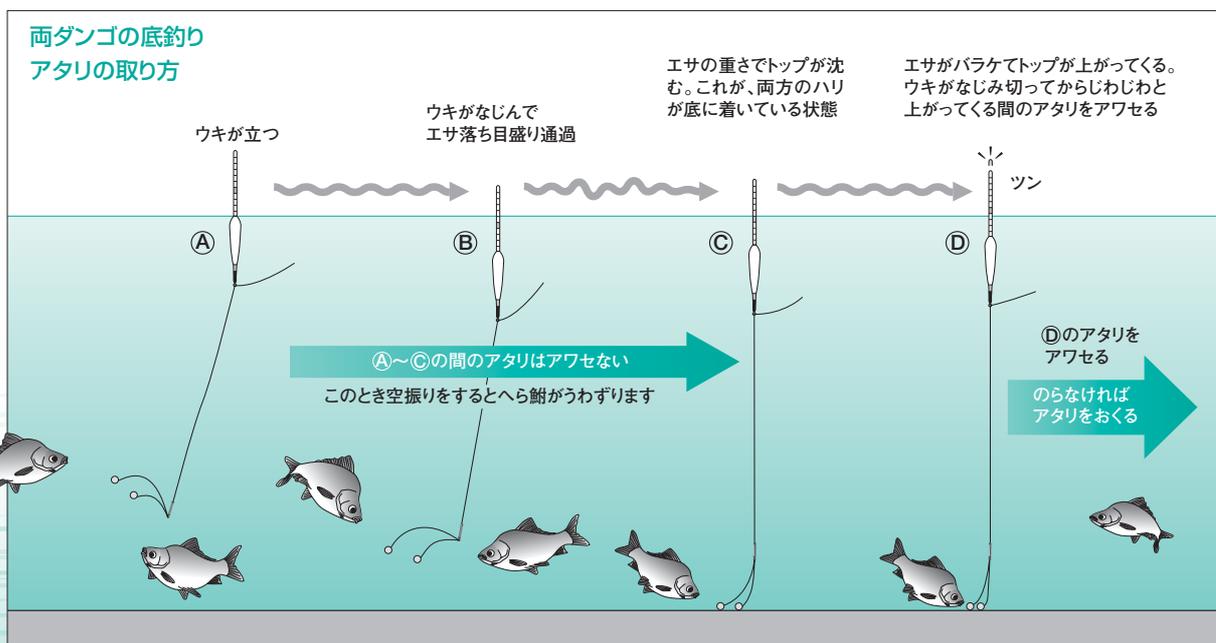
●ハリは4～5号、ハリスの長さは上バリ25cm、下バリ30cmを目安にセットします。ここで注意したいのは、長いハリスを使わないこと。ハリスが長いとエサが底に着くまで時間がかかり、途中で魚にもまれてエサが持たなかったり、ハリからエサが落ちてしまったり、どのアタリを取るのかわかりにくくなります。



●底釣りで使用するウキの目安は、表1を参考にしてください。

釣るタナ(水深)	ウキのボディの大きさ
2～3m	9～10cm
3～4m	10～11cm
4～5m	11～12cm

※夏場はへら鮒の動きも活発ですから、状況を見て余計なアタリを出さないために、1ランク大きなウキのサイズを使ってもよいでしょう



アタリがあるのに釣れないとき

※限界までずらしてもダメなときは、タナを測りなおす



両ダンゴ・底釣りエサの作り方「パウダーベイトスーパーボトム」



●パウダーベイト スーパーボトム

重さとエサ持ちのよさを兼ね備えた底釣り用のダンゴエサです



①「パウダーベイトスーパーボトム」を計量カップですり切り3カップ計り、エサボウルなどの容器に入れます



②次に水1カップを加えます



③水を加えたら全体的にムラができないように混ぜます。このとき、手を熊手状に開くと均一に混ぜ合わせることができます



④基エサのできあがり



⑤エサはハリが隠れるくらいの大きさにしましょう



⑥重さとエサ持ちのよさを兼ね備えていて、ゆっくり膨らんでいきます

ONE POINT LESSON



底釣り用両ダンゴのブレンド例

- 「ダンゴの底釣り夏」
100cc+「ダンゴの底釣り冬」100cc+「バラケマツハ」100cc+水150cc